

丹波古文書倶楽部会報  
古文書かわら版

第16号

事務連絡(高札場)

☆ 忘年会の実施

日時 12月9日(土)

午後一時～

場所 柏原町見長 大連飯店

会費 2,000円

駐車は店の左隣りの空地に

☆ 一月例会

日時 1月13日(土)

午前十時～

会場 柏原住民センター

会場準備(敬称略)

森田尚典、小島紀夫、久保小枝子

☆ 二月例会

日時 2月10日(土)

午前十時～

会場準備(敬称略)

川原邦弘、桜井三枝子、瀧本栄子

☆ 三月份会兼総会の会場変更

日時 3月10日(土)

午前十時～

場所 未定(春日住民センター)

柏原住民センターが、この期間

納税相談会場に使用される事が

判明したため、例年通り、春日住

民センターの予約を検討中

情報発信(みちこるべ)

発行・編集者 延陽伯こと岸孝明  
発行所 丹波古文書倶楽部  
連絡先 090-8882-5537

☆ 第5回歴史TAKEDA

主催 竹田地区自治振興会

会場 竹田「ミニユニテ」センター

12月16日(土)午前10時～12時

テーマ 中竹田の雅な領主

講師 ナビゲータ山内順子さん

参加費500円、資料(カラー)お

菓子お茶付 申込不要 問合先

青木さん(080338257513)

☆ 第5回歴史TAMBA

主催 柏原自治協議会

会場 柏原自治会館

1月19日(金)10時半～12時

講師 井上正直氏(文化財石垣

修復担当者)

テーマは 丹波地域の美しい石

垣

参加費300円、申込先柏原自治

協議会(0795730198)

☆ 丹波市教委 第4回歴史講座

主催 丹波市教委文化財課

1月20日(日)13:30～15:00

会場 山南住民センター

講演 村と寺社建築の関係史

飯) 講師 神戸大学大学院工

学研究科教授 黒田龍一氏

☆ 神戸大学地域連携センター  
第16回歴史文化をめぐる地域連  
携協議会(予告)

日時 1月28日(日)10時～

於 神戸大学 詳細は次号発表

自己紹介(口よ)

◆ 柏原町 山内 順子 様  
和本の楽しみ



『都名所図会』 安永九年(1780)に刊行 全六巻11冊

私がくずし字に出会ったのは、絵が面白そうだなと思い入手した『郡名所図会』でした。これは安永九年(1780)に刊行された全八巻十一冊の京都の地誌—というか、今の観光ガイドブックに近いと思います。秋里雛島が文を、竹原春朝齋が挿絵を担当しています。京都といふことで、意外に変化していない社寺も多いのですが、それでも今は見られなくなつた方広寺の大仏の絵があつたり、太秦の大酒神社で行われる牛祭の古い様子の描写があつたりします。字も比較的読みやすく、初心者にはびびりたりの教材でもありました。

それ以来、お小遣いの範囲内で少しずつですが和本を集めていきます。摂津名所図会』や『播州名所巡覧図会』、『淡路国名所図会』などは兵庫県内のことなので身近な話題も多く、楽しいです。

例えば『播州』では、丹波地域にも伝説の多く残る『法道仙人』が瀬戸内を行きかう船から俵を飛ばしてお布施を得たという伝説も絵になっています。海上を飛んでゆく俵を見ながらびびりする人々の表情も豊かに描かれています。

また『和泉名所図会』では和泉石の産地で石工が様々な種類の鑿を使いながら手作業で獅子狛犬を彫つている様子が描かれています。丹波地域では、柏原八幡宮の獅子狛犬や市島町二宮神社の獅子狛犬などが和泉石製です。図会にあるように

製作されたのだと想像しながら眺めていると、とても愛おしく思えてきます。

名所図会以外では『櫻漢三才図会』もおすすめです。全体は百五巻八十一冊に及ぶ膨大なもので、現在の百科事典です。編集者は大坂の医師である寺島良安。明の『三才図会』をお手本として約三十年かけて編纂、正徳二年(1712)に成立したそうです。最近入手した『又類』の中には口ウソクノ火、松明の火や花火が入っている一方で『鬼火』や『靈魂火』ひとだま』も含まれていました。当時の人々の考え方に触れることができるのが面白いです。

ただし、楷書で書かれているので、くずし字の練習にはならないかもしれません。

以上、私のくずし字との出会いや楽しみ方を書かせていただき、自己紹介に代えたいと思います。今後ともよろしくお願ひいたします。

**特別寄稿(読み売り)**

丹波古文書倶楽部の歩み(4)

前代表 川口利和

2015年度は、フィールドワーク年2回開催は役員の事務量負担が重いことで従前どおり年1回に戻しました。

事業は①例月講座(現行と同様に、原則毎月第2土曜日、10:00〜2時間、年12回)、会場は主に柏原

住民センター)、②フィールドワーク(12月 講師：柏原八幡神社(柏原町)宮司)、③忘年会(12月)、④総会(3月)では前年度並みでした。

フィールドワークの内容は柏原八幡神社の歴史等の解説、連署禁制・社殿造宮記録・拝殿上尊勸進状等の古文書解説・鑑賞、神社内外(乗寶寺・八幡神社社殿・二重塔(塔内含む)・五社稻荷神社等)の縁起等の解説・現地視察でした。特に二重塔内部の狭い階段を上がごの視察はその急勾配にひやひやものの貴重な経験でした。宮司のご配慮に感謝であります。会員数は36名でした。

また、新たな制度である丹波市生涯学習団体市民活動団体等情報登録を3月に丹波市へ申請、登録されました。本制度の利点は①倶楽部活動を市ホームページや情報誌へ発信が可能、②登録情報は各住民センター、図書館等の生涯学習施設へ備付、よって、市登録団体という確かな団体であることの周知の他に、会員募集、他団体との交流等に活用できることあります。

※掲載写真はできる限り個人が特定できないようにの思いで選定しましたが、掲載の写真となりまして、寛大なる心でご容赦願ひます。

※ 第4回分は2016年度分まで寄稿いただきましたが、紙面の都合により、後半部分は次号に掲載する事とします。ご諒承下さい。



★フィールドワークの一場面 (2015/12)

**編集後記(金棒引き)**

今回の忘年会は、肩ひじ張らない無礼講で、と喜んでいきます。

本来、酒宴は、結婚式の三々九度に代表されるように、定められた形式で酒杯をやり取りする「礼講」が正式なのだそうです。

その礼講のうち、身分や地位の上下、形式を問わず酒杯をやり取りするのが「無礼講」なのだそうです。

それ故、無礼講でも、酔っ払って、喧嘩口論や座の雰囲気乱す行為をするのは、無礼な振る舞いだつたそうです。酒宴は和気藹々が一番ですね。